

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【公開番号】特開2017-33547(P2017-33547A)

【公開日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-006

【出願番号】特願2016-136297(P2016-136297)

【国際特許分類】

G 06 T 7/60 (2017.01)

G 06 T 7/00 (2017.01)

G 06 F 16/50 (2019.01)

G 06 F 16/00 (2019.01)

【F I】

G 06 T 7/60 150 P

G 06 T 7/00 510 B

G 06 F 17/30 170 B

G 06 F 17/30 210 A

【手続補正書】

【提出日】令和1年7月1日(2019.7.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

映像を取得する取得手段と、

前記取得された映像の複数のフレームより同一人物の顔を少なくとも1つ検出する検出手段と、

前記検出された顔を、予め定められた複数のグループのいずれかに分類する分類手段と、

前記グループごとに分類された顔の中から、前記グループごとに2以上の整数である第1の所定数以下の顔を選択する選択手段と、

前記選択した顔の特徴量をデータベースに登録する登録手段と

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記選択手段は、顔のサイズ、フレーム、目つぶり、口開けの少なくとも1つに基づいて、前記第1の所定数以下の顔を選択することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記検出手段は、あるフレームにおいて検出された顔に基づいて当該検出された顔を前記映像において追尾することにより、前記複数のフレームより同一人物の顔を検出することを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記グループは人物の顔向きであることを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記複数のグループのうちの第1のグループに対して定められた前記第1の所定数と、第2のグループに対して定められた前記第1の所定数とは異なる値であることを特徴とす

る請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記選択手段は、優先順位に基づいて、前記複数のグループから第 2 の所定数以下のグループを選択し、当該選択した第 2 の所定数以下のグループごとに前記第 1 の所定数以下の顔を選択し、前記優先順位は、前記複数のグループに対して予め設定されていることを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記グループは人物の顔向きであり、

前記優先順位は、前記顔向きが正面から外れるグループほど低いことを特徴とする請求項 6 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

対象とする人物のクエリ画像から抽出された特徴量に基づき、前記データベースに登録された特徴量との照合を行う照合手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

対象とする人物のクエリ映像を入力する入力手段をさらに備え、

前記照合手段は、前記クエリ映像から抽出された前記対象とする人物のクエリ画像の特徴量に基づいて照合を行うことを特徴とする請求項 8 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記入力手段は、対象とする人物の複数のクエリ画像を入力とし、

前記照合手段は、前記複数のクエリ画像を顔向きごとに分類し、1 つの顔向きに対して 1 つの特徴量を決定し、当該決定した顔向きごとの特徴量を用いて照合を行うことを特徴とする請求項 9 に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記入力手段は、対象とする人物の顔を複数の方向から撮影して得られた複数のクエリ画像を入力とし、

前記照合手段は、前記入力された複数のクエリ画像から得られた特徴量を用いて照合を行うことを特徴とする請求項 9 に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

前記照合手段による照合結果を表示装置に表示させる手段をさらに備えることを特徴とする請求項 8 乃至 11 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 13】

前記登録手段は、顔器官点に関する特徴量をデータベースに登録し、

前記照合手段は、対象とする人物のクエリ画像から抽出された顔器官点に関する特徴量を、前記データベースに登録された顔器官点に関する特徴量と照合することを特徴とする請求項 8 に記載の情報処理装置。

【請求項 14】

映像を取得する取得工程と、

前記取得された映像の複数のフレームより同一人物の顔を少なくとも 1 つ検出する検出工程と、

前記検出された顔を、予め定められた複数のグループのいずれかに分類する分類工程と、

前記グループごとに分類された顔の中から、前記グループごとに 2 以上の整数である第 1 の所定数以下の顔を選択する選択工程と、

前記選択した顔の特徴量をデータベースに登録する登録工程と、を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 15】

コンピュータを、

映像を取得する取得手段と、

前記取得された映像の複数のフレームより同一人物の顔を少なくとも 1 つ検出する検出

手段と、

- 前記検出された顔を、予め定められた複数のグループのいずれかに分類する分類手段と、
 - 前記グループごとに分類された顔の中から、前記グループごとに2以上の整数である第1の所定数以下の顔を選択する選択手段と、
 - 前記選択した顔の特徴量をデータベースに登録する登録手段と、として機能させるためのプログラム。